

地域連携センターニュース

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

発行 地域連携センター

電話 042-558-0321(代表)

FAX 042-550-5190(直通)



新年のご挨拶

地域連携センター長（副院長） 八田 善弘



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

かつては獅子舞や羽根突きに沸いた正月も、今や大型連休へと姿を変え、「昭和は遠くなりにけり」と感慨にふけっております。しかし、時代が移り変わっても、当センターの役割である「地域を繋ぐ絆」の重要性は変わりません。

昨年は、長らく休床扱いになっていた4東病棟を12月9日付で再開しました。主に高齢者救急患者さんの入院を想定しています。

紹介患者数も令和6年度は前年度比約500人増加し、また状態の安定している患者さんや長期間処方だけの患者さんを中心に地域の先生方に逆紹介を積極的に進めております。

今年度も順調に紹介患者数、逆紹介患者数を維持しております。

また、救急車受入件数は年間3,000台を達成し、最近は急性期病棟の病床利用率が100%を超える日も出てきました。

これも地域の診療所、クリニックとの医療連携強化の現れと感じております。

本年も救急医療の維持を礎に、地域の医療機関・介護保健施設・福祉施設の皆様とこれまで以上に緊密な連携を図り、誰もが安心して暮らせる医療体制の構築に尽力してまいる所存です。

本年が皆様にとって、健康で希望に満ちた一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

ご挨拶

副院長（整形外科）小野 秀樹



昨年4月より副院長を拝命しました小野秀樹と申します。初めて公立阿伎留医療センターに赴任したのは1996年です。当時はまだ古い病院で、周囲には栗林が広がり、舗装されていない道路もありました。

その後3回目の出張で戻ってきたのが2003年でそのまま現在に至っております。

通算23年以上勤務しており、私より長く在籍している医師は2人のみです。

この長い間に、周辺のクリニックもかなり変わりました。

当院は高度の医療設備を備えており、様々なニーズに対応できると考えております。少しでも地域の先生方のお役に立てるよう、努力してきます。

今後ともよろしくお願ひいたします。

～整形外科からのお知らせ～

地域の先生方からのご紹介も増加しており、現在は4名の常勤医と主に非常勤医5名体制で対応しています。

昨年度は骨折観血的手術・大腿（ORIF）、人工骨頭挿入術（BHA）、人工関節置換術・股（THA）、人工関節置換術・膝（TKA）を中心にオペ件数は340件となりました。

また、**自由診療**となります。膝関節痛を軽減する**自己血小板由来成分濃縮物フリーズドライ（PFC-FD）療法（PRP）**も行っております。初再診料・感染症検査等一式込で**181,500円（税込）**となります。地域連携課を通して、事前のご予約をお願いします。

さらに4月からは、常勤医1名と脊椎圧迫骨折治療の手術（BKP）に対応できる非常勤医師を採用予定です。

ご不明点ございましたら、地域連携センターまでご連絡ください。

